

テーマ
中国語圏「修学(研修)旅行」企画コンペティション
目標
<p>学習者レベル（初級終了レベル）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 世界遺産や観光名所を調べることで学習言語の関連知識を得ることができる。 ● 移動手段や物価などを調べることで地理や生活習慣に対する理解を深めることができる。 ● 聞き手のニーズを考えて、聞き手に必要な情報を整理することで、自己満足なプレゼンテーションからのステップアップが図れる。 ● 聞き手に中国（語）に対する興味を喚起できる。
コミュニケーション能力指標
<p>【話題分野：旅行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 修学（研修）旅行の企画立案に必要なニーズや情報を正確に入手することができる。 ● 旅行で想定される場面に関する会話できる。 ● 数字を用いた表現を身につけることができる。 ● 世界遺産などの固有名詞を中国語で言える。 ● web 辞書など語学学習に有益なツールやその利用方法を紹介できる。 ● 世界史や地理の教科書で割愛されている知識を紹介できる。
学習シナリオ
<p><場面状況></p> <p>旅行会社の社員となり、グループごとに中国語圏への修学（研修）旅行プランを作成する【Plan(計画)】。作成したプランは文化祭で他社（グループ）とコンペティションを行い【Do(実行)】、高校教員・生徒保護者・その他来場者に修学（研修）旅行として相応しいプランに投票してもらい【Check(評価)】。後日、自己評価と来場者の投票や提案や意見をもとに資料を修正する【Action(改善)】。業務と学業の両面からPDCA サイクルを完結させる。</p> <p><活動の流れ></p> <ol style="list-style-type: none"> ①：2～4名のグループを作成し、各グループごとに中国語圏（中国大陸各都市、台湾、香港・マカオ、シンガポールなど）から旅行予定地を決める。 ②：旅行者（学生）、保護者、修学（研修）旅行委員（教員）それぞれのニーズをインタビューする。 ※教員はグループごとに Google ドキュメント（Word）、スプレッドシート（Excel）、スライド（PPT）を用意する。 ※学生は Google のアカウントを作成して、アカウント名を教員に報告する。 ③：旅行予定地から近い世界遺産などを調べ、修学（研修）面のメインイベントを決める。旅行のコンセプトとキャッチフレーズを考える。 ※旅行会社や観光業界について調査・研究を行う。旅行会社に実物のパンフレットを貰ってくる。 ④：②を踏まえて使用する空港（国内と国外）、旅行予定地のホテルなどの地理を調べる。 ⑤：為替レート、航空券代、ホテル代、その他の物価を調べる。

- ⑥：旅行予定地のマナー、文化の違い、注意・禁止事項などを調べる。
- ⑦：宿泊日数、予算、修学面以外のイベントを決める。
 ※Google ドキュメント（Word）などで作業させていけば学校に行かなくても共同作業ができるので、ここまでを長期休業中の宿題にできる。さらに長期休業明けまで待たずに途中経過を評価できる。
- ⑧：旅行中に使用が予想される中国語を場面ごとに考える。
 ※教員は発音指導と模範の発音を録音して音声データを学生と共有させる。
 中国語圏に留学中の友人や姉妹校の学生などと連携を取ってもよい。
- ⑨：お勧めのお土産や旅行先の食事の値段と中国語を調べる
 ※教員は発音指導と模範の発音を録音して音声データを学生と共有させる。
- ⑩：各グループの中間発表を行う。
- ⑪：スケジュールなどを考え、旅行者（高校生）向けの旅のしおり（ガイドブック）を作成する。
 ※コマ数やグループの人数によっては割愛してもよい。
- ⑫：コンペティション（発表）で用いる発表資料を PPT で作成する。
 ※作業時は Google スライドを用いる。
- ⑬：文化祭コンペティション会場に掲示するため（来場者向け）のポスターとして、旅行の概要や修学目的などを模造紙にまとめる。
 ※コマ数やグループの人数によっては割愛してもよい。
- ⑭：コンペティションのプレゼンターは PPT を用いて口頭説明の練習、その他のメンバーは使用が予想される中国語の発音練習を行う。
 ※文化祭で発表できる場合は、期間中に複数回の発表機会を設けて、各グループ全員が全ての役割を順番にこなせるようにするとよい。
- ⑮：文化祭当日は来場者に投票（評価）シートを配布してから、各社（グループ）発表を行う。
 ※教員は発表をビデオ撮影する。
- ⑯：各社（グループ）で自己評価を行った後に来場者の評価を確認する。
- ⑰：各社（グループ）の発表動画を確認する。
- ⑱：他グループの学生と来場者からのフィードバック（投票）を踏まえて、作成した資料を改善する。

総括的評価

- 発表時の作成資料（旅のしおり、掲示物、PPT）と発表終了後の修正資料
- メインプレゼンターとしての口頭発表と協力者としての中国語の発音
- 来場者の評価と自己評価